

家畜生理学特論実験 (2単位)

担当者氏名 半澤 恵

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

家畜生理学特論で修得する学理を実践的に展開するための技能・技術を修養する。具体的には、遺伝子解析、情報解析、タンパク質解析、免疫学的手法、機器分析法、細胞解析などの基礎的原理・手技、ならびに活用方法を理解することを目的とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

遺伝子解析	タンパク質解析	免疫学的手法	機器分析
情報処理	細胞解析	細胞培養	各種標識法

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	動物実験	実験動物の取り扱い	◎本授業のねらいは、家畜生理学特論を実践的に展開するための実験を体験し、家畜生理学への理解を深めると共に、自らの学位論文作成の一助となすことである。そのため、初回の授業において、各回のテーマを懇切に紹介すると共に、予め基礎的な知識を予習する機会を与える。また、授業終了後、復習を兼ねて各自の学位論文作成にあたって活用しうる実験手技について考察すること。
2	血球分析 1	赤血球性状	
3	血球分析 2	白血球性状	
4	免疫学的手法 1	表面抗原解析 1	
5	免疫学的手法 2	沈降反応	
6	遺伝子解析 1	DNA解析 1	
7	遺伝子解析 2	DNA解析 2	
8	遺伝子解析 3	RNA解析	
9	情報解析 1	バイオインフォマティクス 1	
10	情報解析 2	バイオインフォマティクス 2	
11	タンパク質解析	タンパク質の性状解析	
12	免疫学的手法 3	各種免疫学的検出 (表面抗原分析 2)	
13	機器分析 1	各種機器分析 1	
14	機器分析 2	各種機器分析 2	
15	細胞解析	分離法、培養法、染色法、顕微鏡解析法	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

適宜、資料配布ならびに資料提示

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

アット・ザ・ベンチ アップデート版／キャシー・パーカー／メディカル・サイエンス・インターナショナル (2005)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

毎時間のレポートなどの課題

◆オフィスアワー

毎週火曜日の午前、研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項